



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6082 URL <http://www.rideonexpresshd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江見 朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,549	2.8	992	42.4	963	29.7	599	30.8
2019年3月期第3四半期	15,123	8.0	697	10.5	742	20.2	458	15.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 598百万円(155.5%) 2019年3月期第3四半期 234百万円(△63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	57.09	56.32
2019年3月期第3四半期	43.78	42.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,118	5,726	51.5
2019年3月期	9,906	5,232	52.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,724百万円 2019年3月期 5,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,006	2.4	1,557	50.2	1,560	44.6	979	47.1	93.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	10,634,000株	2019年3月期	10,634,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	124,988株	2019年3月期	124,988株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	10,509,012株	2019年3月期3Q	10,477,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）における我が国経済は、通商問題の動向や海外経済の先行き、金融資本市場の変動による影響、消費税率引上げによる消費者マインドの動向に留意する必要があるものの、政府の経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。

当社グループの属する宅配食市場におきましても、高齢化社会の進展、女性の社会進出、小規模世帯の増加、インターネット注文の普及等により、今後も堅調に推移すると考えられます。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、オンデマンド（お客様の要求に応じて即時にサービスを提供する）でのサービス提供を軸とした「オンデマンドプラットフォーム」の構築に向けた事業活動に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、ゴールデンウィークの大型連休による特需効果、WEB注文促進の各種施策の効果などにより、宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の売上は好調に推移しております。一方で、当社グループのブランドで使用可能な自社電子ポイント「デリポイント」の発行による利用機会の創出及びWEB注文促進の強化等により販管費は増加しておりますが、売上高の増加に伴う粗利増、生産性の向上等により営業利益は前年同四半期と比べ増加いたしました。

また、前年同四半期においては、当社の連結子会社であるライドオン・エースタート1号投資事業有限責任組合の投資有価証券売却益の計上があった一方で、当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社であるライドオン・エースタート2号投資事業有限責任組合が保有する投資有価証券の評価減の計上があったものの、経常利益は前年同四半期と比べ増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高15,549百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益992百万円（前年同四半期比42.4%増）、経常利益963百万円（前年同四半期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益599百万円（前年同四半期比30.8%増）となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

①店舗・拠点

FCを含むチェーン全体の店舗数においては、宅配御膳「釜寅」5店舗（直営店2店舗、FC店3店舗）を出店し、宅配寿司「銀のさら」1店舗（FC店）、宅配御膳「釜寅」1店舗（FC店）を閉店いたしました。また、直営とFCの区分が変更されたことにより、直営店は宅配寿司「銀のさら」4店舗、宅配御膳「釜寅」5店舗、宅配寿司「すし上等！」4店舗の減少となっております。

これにより当第3四半期連結会計期間末における店舗数は747店舗（直営店265店舗、FC店482店舗）、拠点数は368拠点（直営店100拠点、FC店268拠点）となりました（※）。

※当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備（宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等）、及び「ファインダイン」における消費者が選ぶことのできる提携レストランのラインナップ（メニュー）毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

②各ブランドの状況

商品戦略としましては、期間限定商品として、宅配寿司「銀のさら」では、人気の高い「大生エビ」、「トロサーモン」、「大トロ」を使用した商品を提供いたしました。

宅配御膳「釜寅」においては、お客様からのニーズに応え、6月より「牛タン釜飯」、「炭火焼豚肉釜飯」といった食べ応えのある商品の提供、ランチメニューの拡充を実施いたしました。

宅配寿司の第2ブランドである「すし上等！」においては、手巻き寿司や丼といったバラエティメニューを提供し、「銀のさら」との差別化を図るとともに、様々なお客様のニーズに応えることで、新たな顧客層の開拓を進めております。

販売戦略としましては、繁忙期であるゴールデンウィーク、お盆、年末年始期間のテレビCMとして、素材の活きの良さを表現した「上司編」、「バレエ編」、「銀のさら」のおいしさを楽しく表現した「同じくらい編」

の放映を実施いたしました。

WEBにおける販売促進においては、前事業年度より開始した自社電子ポイント「デリポイント」を活用することで、さらなる利用機会を創出するため、繁忙期や機会点において戦略的にポイント発行を行い、その効果を検証しております。4月にはWEB会員を対象に、デリポイントの「GW500ptプレゼントキャンペーン」の実施、6月には公式アプリからのご注文でデリポイントが注文金額の10%貰える、「デリポイント10%ポイントバックキャンペーン」を実施、7月にはInstagram、Twitterで「銀のさら」に関係する写真を投稿することでオリジナルグッズが貰える「『銀のさら』SNSキャンペーン フォトコン2019」を実施、また、「銀のさら」、「釜寅」、「すし上等!」アプリにおいて、デリポイントが毎日貰える「ゲーム機能」を追加いたしました。当社グループは中小企業を対象とした消費増税に伴うキャッシュレス・ポイント還元事業に該当しない為、対策として10月にはWEBサイトにおいてクレジット決済でご注文頂いたお客様を対象に「デリポイント最大10%ポイントバックキャンペーン」を実施、11月には全国の店舗（一部店舗を除く）にてWEB限定商品を提供するなど、WEB会員、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。

また、「銀のさら」においては、年末年始を含む12・1月が、年間において一番お客様のご利用数が多く、収益を獲得できる時期であるため、高級食材を使用した期間限定桶の提供、WEB注文サイトにおける年末年始用ページの作成、早期WEB予約の受付、年末年始の早期予約注文でデリポイントが最大20%貰えるポイントバックキャンペーンを実施するなど、お客様満足度・利便性及び収益性の向上、新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信、LINE公式アカウントからの情報発信、公式アプリからのプッシュ通知等、CRM（※）の確立に向けた活動を行うとともに、WEBからの注文促進に向けたDMを実施しております。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配寿司「銀のさら」においては、テイクアウト併設型店舗の検証を実施しております。従来のデリバリーでの注文に加え、テイクアウトでの需要に応えることで、利便性の向上と新たな顧客層の開拓を進めてまいります。また、7月には宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の世界観をそのままに、高級感あふれる店内で食事をお楽しみいただける、「銀のさら」、「釜寅」のレストラン併設型店舗をオープンしております。

提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」においては、「ファインダイン」と他の自社ブランドとの複合化による更なる生産性の向上を目指し、受注対応、調理対応、配送におけるシステム、オペレーションの構築を行っております。販売促進においては、「お友達紹介クーポン」、「サンキュークーポン」機能により、新規顧客の獲得とリピート利用の促進に努めるとともに、ファインダイン公式ブログにて、毎月お得なクーポンや情報を配信、11月には「配達料0円キャンペーン」を実施するなど、顧客接点の強化及び利用促進のための施策を実施しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べて1,212百万円増加し、11,118百万円（前連結会計年度末残高9,906百万円）となりました。これは主として、季節的な売上変動に伴い売掛金942百万円、有形固定資産の取得により188百万円、原材料117百万円が増加した一方で、現金及び預金が296百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて718百万円増加し、5,392百万円（前連結会計年度末残高4,673百万円）となりました。これは主として、季節的な変動に伴い買掛金が954百万円増加した一方で、長期借入金330百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて493百万円増加し、5,726百万円（前連結会計年度末残高5,232百万円）となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益599百万円の計上による増加、配当金105百万円の実施により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、ゴールデンウィークの大型連休による特需効果などにより、宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」の売上は好調に推移しております。なお、2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

また、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,492,439	3,195,982
売掛金	962,391	1,905,301
有価証券	1,000,000	1,000,000
商品	35,523	43,300
原材料及び貯蔵品	419,423	537,233
その他	576,440	737,602
貸倒引当金	△28,629	△34,195
流動資産合計	6,457,589	7,385,224
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	490,973	626,011
その他(純額)	190,240	243,451
有形固定資産合計	681,214	869,462
無形固定資産		
	368,851	478,879
投資その他の資産		
投資有価証券	1,436,271	1,430,809
繰延税金資産	275,258	272,570
差入保証金	632,937	631,257
その他	134,572	125,351
貸倒引当金	△80,362	△74,680
投資その他の資産合計	2,398,677	2,385,308
固定資産合計	3,448,743	3,733,650
資産合計	9,906,332	11,118,875
負債の部		
流動負債		
買掛金	942,550	1,897,417
1年内返済予定の長期借入金	440,280	440,280
未払金	842,209	857,437
未払法人税等	135,988	178,100
ポイント引当金	91,614	176,056
株主優待引当金	55,432	19,775
その他	390,402	384,197
流動負債合計	2,898,477	3,953,264
固定負債		
長期借入金	1,276,129	945,919
資産除去債務	161,157	158,195
その他	337,879	335,202
固定負債合計	1,775,166	1,439,317
負債合計	4,673,643	5,392,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,451	982,451
資本剰余金	886,071	886,071
利益剰余金	3,528,276	4,023,158
自己株式	△200,150	△200,303
株主資本合計	5,196,648	5,691,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,080	33,008
その他の包括利益累計額合計	34,080	33,008
非支配株主持分	1,959	1,907
純資産合計	5,232,688	5,726,292
負債純資産合計	9,906,332	11,118,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	15,123,477	15,549,695
売上原価	7,746,715	7,845,661
売上総利益	7,376,761	7,704,033
販売費及び一般管理費	6,679,467	6,711,331
営業利益	697,293	992,702
営業外収益		
受取利息	2,346	1,829
固定資産売却益	29	29,682
業務受託料	2,500	2,484
投資有価証券売却益	107,729	—
その他	6,530	4,055
営業外収益合計	119,136	38,052
営業外費用		
支払利息	3,364	2,627
固定資産除売却損	8,875	5,252
加盟店舗買取損	55,579	23,000
投資事業組合運用損	5,412	4,228
投資有価証券評価損	—	29,999
その他	487	2,531
営業外費用合計	73,720	67,639
経常利益	742,709	963,114
特別利益		
固定資産売却益	—	2,881
受取保険金	4,906	5,014
特別利益合計	4,906	7,896
特別損失		
リース解約損	6,482	3,354
特別損失合計	6,482	3,354
税金等調整前四半期純利益	741,134	967,656
法人税等	282,306	367,758
四半期純利益	458,827	599,898
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	80	△73
親会社株主に帰属する四半期純利益	458,746	599,971

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	458,827	599,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224,476	△1,050
その他の包括利益合計	△224,476	△1,050
四半期包括利益	234,350	598,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,406	598,899
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	△51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、宅配事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。